

法幢院 だより 寶授院

第三号

平成24年 夏号

発行所 法幢院 寶授院
宗教法人
発行人 松山典嗣
甲州市塩山上萩原9-4
☎0553 (33) 2092
Fax0553 (33) 7772
(年2回発行)

法幢院住職の任命を受けて

五月十四日、曹洞宗宗務庁より法幢院住職の任命を受けました。

これまで寶授院の住職として五年間務めて参りましたが、これからは先代の名に恥じぬよう両寺院の住職として今まで以上に努力・精進して参ります。

檀家の皆様からは、今後も変わらぬ御指導・御支援を賜りたいと存じます。

法幢院・寶授院の本寺であります
龍石山 永昌院(山梨市矢坪)の堀内正樹老師より、お祝いのお言葉を頂戴しましたのでご紹介致します。

松山典嗣師の法幢院



住職就任を祝う

法幢院様におかれましては、松山典嗣師が住職に就任されました。誠に御めでとうございます。

ご承知の方も多いと存じますが、曹洞宗の中には寺格の規定があり、最初

から法幢院住職に就任することが不可能でありました。

松山師は平成十九年に宝授院住職に就任されてから今日まで、檀信徒の皆様にご協力をいただいて法幢、宝授の二ヶ寺を懸命に守り、教化檀務に邁進される様子はすでに皆様ご存じのとおりですが、その傍ら曹洞宗の布教師として著しい研鑽を積まれております。

県内の多くの布教行事において、老若男女に優しく的確に仏教や禅の教えを伝道する姿は本場に頼もしく、嬉しく拝見しておりました。最近の後輩若手の指導的役割も負われ、信望は誠に厚きものがあります。

この度はそのような活動、活躍が評価され、五月十四日、曹洞宗管長様より正式に辞令が交付され、法幢院二十三世住職、宝授院兼務住職を拝命されたのであります。

多くの人がこの日を待っておりました。私もその一人です。檀信徒の皆様と共に心からお慶び申し上げます。

どうか典嗣方丈様と共に法幢院、宝授院がますます発展し、長く守り伝えて行かれんことをお祈りし、ご開山様、歴代住職様、寺を守って来られた多くの方々にご報告申し上げたいと存じます。

松山新任職様、これからもお体にお気をつけて末永くご活躍をお願い申し上げます。

平成二十四年七月五日

永昌院住職 堀内正樹合掌



晋山結制式の計画

宗務庁より住職任命の許状と同時に「任命から三年以内に晋山結制式を行わなければならない住職の資格を喪失することとなる」との通知を受けました。つきまして、総代会役員会を開き、どのように晋山結制式計画を進めていくか話し合いをしております。

現時点では、二年後の秋頃晋山結制式をおこなうこと。また、寺での葬儀を望む声があり、それを視野に入れた記念事業として駐車場の整備を考えております。

檀家の皆様にご協力いただき晋山結制式を進めていきたいと思っております。計画の詳細は決まり次第ご報告させていただきます。

修善・工事等の報告

- ・庫裡トイレ修善
 - ・庫裡廊下天井クロス張り替え
 - ・玄関チャイムの取り替え
 - ・自家水ポンプマグネット取り替え
 - ・禅堂の壁塗装工事一式
- 檀家の皆様からの護持会費で右記の修善をさせていただきました。ありがとうございます。

大般若会法要の研修会

だいはんにやえほうよう

青年僧侶の法式研修の為、五月一日、法幢院にて大般若会法要を厳修いたしました。研修会には峡東地域の青年僧侶十二人が参加し、法幢院の大般若六百巻を使用し約三時間、繰り返し法式研修を行いました。

大般若会とは『大般若経』を転読する事で、五穀豊穰や国家安寧を祈念し人々を幸せにすると言われております。法幢院がこのような厳かな法要の研修の場として選ばれ、大変嬉しく思っております。先祖から受け継がれてきた法幢院の『大般若経』六百巻を檀家の皆様にもお披露目する機会を設けたいと考えております。

大般若会の説明や研修会の様子は本堂内・水場横の掲示板にて紹介しております。ぜひご覧下さい。

こども禅の集い

夏休みに禅の集いが開かれますのでご紹介致します。詳しい内容・日程などは掲示板にてご紹介致します。申し込みは法幢院までお願いします。

● 峡東青年会主催

七月二十一・二十二日（二泊二日）

場所 … 広巖院（笛吹市一宮町）

参加費…三千元

対象 … 小中学生

● 山梨県青年会主催

八月三日（日帰り）

場所 … 自元寺（北杜市白州町）

参加費…五〇〇円

対象 … 小学生

はつめまつり

二月二十三日に息子・宗嗣（しゅうじ）が二六六gで誕生しましたので、ご報告させていただきます。

四カ月を過ぎ、母子ともに健康で、元気にすくすく育っております。

寺からのお知らせ

① お棚経

・十三日午後 瀬木・上原・巾

踊石下の一部

・十四日 新盆のご家庭・大藤

上条・塩山の一部地域

・十五日 岩波・上切・二子山・

上小田原・下小田原・

踊石上、中、下

※都合により、変更することもございますが、御了承下さい。

※またこの地域以外へは八月にお棚経へ伺う予定です。

② 寺参り

七月十六日 午前十時・午後三時

※御都合に合わせて御来山下さい。

③ 精霊棚にお供えした牛や馬、供物

を川へ流す事は河川の汚染につながります。鐘楼横の畑に穴を準備します。その中へ入れてください。

※穴へは右記以外の腐らない物（ビニール等）は入れないでください。

④ 世話人の交代

岩波組の世話人が岩波昇様より岩波守和様へ交代致しました。